コミュニティビジネス育成プラン

背景

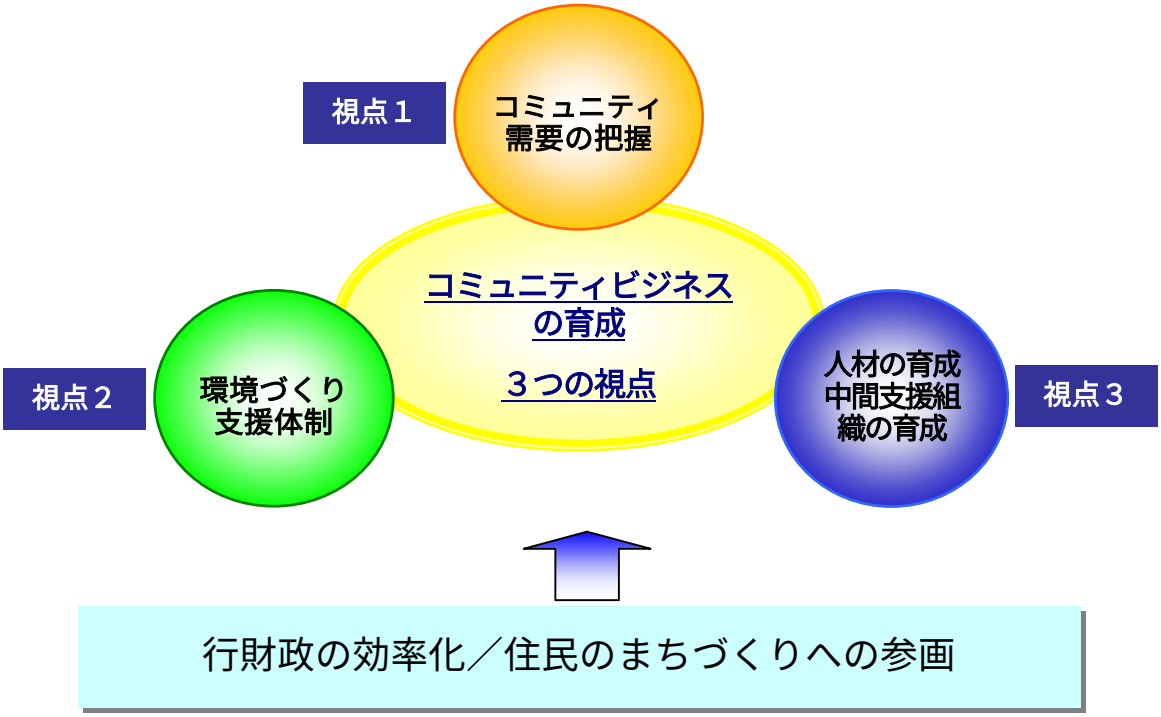
市町村新時代における公共サービスやまちづくりの新たな担い手として、地域に密着したコミュニティビジネスやＮＰＯの役割が重要性を増しています。

しかしながら、市町村においては、コミュニティビジネスやＮＰＯの育成をいかに図っていけばよいのか戸惑いを感じているところもあると思われます。

コミュニティビジネスの育成に当たっては、地域の需要を見極めるとともに、ビジネスを支える人材の育成はもとより、個々のコミュニティビジネスと行政とをつなぐ中間支援組織（インターミディアリー）の育成や活動の場の確保等が欠かせません。

本調査では、「市町村新時代における行財政の効率化＝アウトソーシング」と「住民のまちづくりへの参画」をキーワードとして、コミュニティビジネスの需要分野、需要量の把握から、地域へ与える波及効果等を検討するとともに、事業を実現するために必要な中間支援組織の育成や支援体制の整備などを狙いとしています。

視点



Copyright(c) 2005 GYOSEI INSTITUTE, All Rights Reserved

ステップ

本計画は、次のステップで策定します。

ステップ１

■地域の課題とコミュニティビジネスの役割

○地域の課題の整理
（福祉、生活、産業、人づくり・まちづくりなど）
○市町村におけるコミュニティビジネスの役割
○先進事例の分析

ステップ２

■コミュニティビジネスに対する需要の分析・把握

○行政効率化の視点からのニーズの分析・把握
○住民ニーズの分析・把握（アンケート調査）
○需要量の予測

ステップ３

■地域におけるコミュニティビジネス創出の素地の分析・整理

○ＮＰＯの活動状況
○有償ボランティア活動の状況
○活動の場の確保等環境整備の状況

ステップ４

■事業化分野の抽出と事業効果の検討

○事業化分野の検討・抽出
○事業化シミュレーションと効果の検討

ステップ５

■コミュニティビジネス育成モデル事業の検討

○活動の場の確保
○経営システム
○情報の収集と提供
○財政支援

ステップ６

■中間支援組織の育成と人材の育成、支援体制の検討

市町村コミュニティビジネス育成プランの作成

Copyright(c) 2005 GYOSEI INSTITUTE，All Rights Reserved